

## 豊かな長寿社会を実現するためには

# レモン水

No.56

発行 2020.1



一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会情報紙

[発行人] 鈴木一良 [編集・発行所] (一社) 茨城県福祉サービス振興会

[編集委員] 小室博俊、安藤真理子、柳下文江、菊池巧

〒310-0851 茨城県水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館5階

TEL. 029-241-6939 FAX.029-241-6799

# ごあいさつ



茨城県知事

大井川  
和彦

新年あけましておめでとうございます。

一般社団法人茨城県福祉サービス振興会の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年を振り返りますと、令和初の国体「いきいき茨城ゆめ国体」で、45年ぶりに天皇杯・皇后杯を獲得するなど明るい話題がある一方、相次いで発生した大型台風により、本県は甚大な被害を受けました。

先に内閣府が公表した2019年版「高齢社会白書」によると、日本の全人口の28・1%が65歳以上になる「超高齢社会」になるといわれています。特に介護業界では新たに介護職に就く若者が減り、高齢者だけが増えていけば、人材不足が今後も加速して行くことは明らかです。

明けましておめでとうございます。お健やかに今和2年の  
新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。  
私ども一般社団法人茨城県福祉サービス振興会に対し、日  
頃よりご理解とご支援を賜っておりますことに厚く御礼申し  
上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。  
消費増税の影響で景気は一時的に落ち込むものの、その後  
は、外需の持ち直しと内需の底堅さに支えられ、緩やかな景  
気回復が続く見通しと言われています。  
そのような状況のなか、団塊の世代も後期高齢者になるだ  
けでなく、いわゆるバブル・団塊ジニア世代も50歳代に突  
入し、少子高齢化が進む人口分布のゆがみによって生じるで  
あるう2020年問題がニュースでも取り上げられるようにな  
つてきました。

明けましておめでとうございます。お健やかに令和2年の  
新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。  
私ども一般社団法人茨城県福祉サービス振興会に対し、日



一般社団法人  
茨城県福祉サービス振興会

会長  
鈴木  
一良

人材不足の対策としては、①ユニットケア（少人数のメンバーで決まったスタッフがケアする）システムの導入や事務処理のペーパーレス化、ITの導入により、職員の労働環境改善、満足度向上へと繋がり、②外国人人材の活用として、技能実習制度やEPA（経済連携協定）による外国人材を受け入れることで、今後、少子高齢化が進む日本において、介護人材不足対策はよりグローバルに考えなければならない時期に来ているのかもしれません。

当振興会の事業として、茨城県から要介護認定調査に係る「指定市町村事務受託法人」の指定を受け、要介護認定調査業務の受託を行つておりますので、関係市町村担当者の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

用をお願い申し上げます。  
本年度も茨城県をはじめ関係団体と連携を図り、存在意義のある団体として引き続き役職員一丸となって努力する所存でございます。

会員の皆様には、厳しい業界環境ではあります、が、本振興会の事業運営にご支援ご協力を願い申し上げますと共に、より一層地域に密着した企業としてご活躍されますことを、祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

さて、人口減少や少子高齢化などにより、社会情勢が急速に変化する中、私は「スピード感」と「選択と集中」を信条に、困難な政策課題にも臆せず取り組んでまいりました。本年は、これまで打ち出してきた政策を、よりスピード感を持って推し進めていくとともに、絶えず効果を確かめ、必要とあらば、躊躇せずに見直しや追加の対策を実施し、新たな課題に対しても積極的に対応してまいります。

今年はいよいよ東京オリンピックのサッカー競技が本県で開催されます。これを契機に、茨城の魅力を世界に発信するとともに、「活力があり県民が日本一幸せな県づくり」に挑戦してまいりますので、なお一層のご支援、ご協力をお願ひ申し上げます。

皆様にとりまして、本年が実り多き素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

# 持ち上げない介護を目指して

～ここから始まり　ここから変える　介護現場～

令和元年12月4日（水）茨城県総合福祉会館1階「ミュニティホール」において、茨城県、（一社）茨城県福祉サービス振興会の主催で「茨城県腰痛予防講演会・取り組み事例報告会」が開催されました。開会に先立ちましてはじめに、当振興会上野副会長、県長寿福祉推進課の森田課長は、「腰痛予防は重要課題であり、予防対策の推進を進めなければならぬ。この講演会を通して、腰痛予防への理解と認識を深めて取り組んで頂きたい。」とあいさつの中で訴えました。



## 1 目的

当振興会は、茨城県からの委託を受け「茨城県介護職員腰痛予防対策推進事業」として、腰痛予防研修等の取り組みにより、介護現場における腰痛予防の推進を行っています。

また、管理者の理解のもと腰痛予防対策を組織的に取組んでいる福祉施設を茨城県介護職員腰痛予防モデル施設に指定し、腰痛予防の普及・促進を図る取組も行っています。

腰痛は介護職が職場を辞める大きな理由との調査結果もあり、介護職の人材確保・定着の面からも腰痛予防の取組みがより求められています。

このため介護現場での腰痛予防対策の

重要性を啓発するとともに、負担のかからない介護技術や、移動・移乗におけるリフト等福祉機器の積極的な活用などについて、理解と普及をより深め、組織的に腰痛予防対策の実践を進めることを目的として講演会を開催しました。

## 2 内容

### 講演1 「介護事業特有の災害防止」

（高齢化社会への対応）

労働基準部健康安全課  
地方労働衛生専門官 杉山 満氏

### 取組事例報告

「介護施設における腰痛予防対策の取り組みについて」

### 報告1 特別養護老人ホーム

松寿園  
ホーム副長 小原 勝志氏



### 報告2

特別養護老人ホーム  
桜の郷  
主任 生活相談員  
吉村 道洋氏  
ユーリットリーダー  
高橋 まゆみ氏



### 講演2

「持ち上げない介護  
を目指して」

一般社団法人 日本  
ノーリフト協会  
代表理事  
保田 淳子氏



**福祉機器展示・デモ**  
 ①介護リフト シーカーネンス（株）  
 ②移動ロボット Keipu（株）アイザック

## 3 参加者

管理者・介護士・介護福祉士・生活相談員・訪問介護員・看護師・理学療法士・作業療法士

## 4 講演後の感想

### ●講演1について

・労災の中で「転倒」「腰痛」が多いことが分かった。現場にいるだけでは、分からぬ事を学べた。  
 ・労働局が保健衛生業の労働について、どのように理解しているのかが垣間見れた。  
 ・事例もあり、分かりやすかった。知らない災害が多く、勉強になった。今後、施設で活用し取り組んでいきたいです。利用者様にも腰痛予防体操を提供し、一緒に行うことで自分の健康・予防につなげていきたいです。

### ●講演2について

・持ち上げない介護をもつと目指したいと感じる。（私たちが広めていかないといけないと感じる）ケアのプロとして働く意味・方法を考えていかなければならないと感じたから。  
 ・今まで行っていた介助方法だと、いくら頑張っているつもりでも、つもりになってしまっているんだと思いました。新しい視点を学べたから。  
 ・今の日本の介護に違和感がずっとありました。オーストラリアに追いつき追い越せたらいいな。  
 ・日本のケアは遅れている。  
 実際に動いてみたり、動画で見る等で、

・プランニング、エビデンスの重要性、必要性。写真・動画を取り入れてあって、わかりやすかった。  
 ノーリフトを行うことで、自分だけではなく利用者様の身体状態の向上が見込めるという事が分かり、実際に行ってみようと思った。今まで考えたこともないような話もあったので、講演を聴いて本当に良かった。  
 介助者のケアの仕方で、相手の生活の質や体の状態が、良くも悪くも変わっていくこと。  
 ノーリフトの大切さを知ることで、自分の職場での問題点がたくさんあり改善が必要とあらためて思った。少しでもできることを進めていきたい。  
 腰痛予防対策を通して、看護や介護に自分たちの力で現場を変えることができる実演を通してわかりました。ノーリフトは腰痛予防になると思いました。

### ●取組事例報告「松寿園」について

・長い目で見た、腰痛予防の取り組みと、現場の様子が率直に伝わり、わかりやすく良かつた。  
 ・話がわかりやすく、自分たちの将来的な問題として受け止められ、考えさせられました。

・取組事例報告「桜の郷元気」について  
 腰痛予防の意識づけを現場の職員にしてもらう事の大変さが伝わった。  
 今までの使用方法と違ったやり方のスライディングシート活用を知ることができた。

とてもよさそう。使えるようになつたらうれしい。  
またがり乗り込む形は画期的な発想だと思った。

\*  
**全体**  
 リフトなどの福祉用具を使うことは、利用者様にとって、より良いケアになる。普段職場ではあまり教えてもらえないの、とても衝撃的かつ新鮮な内容ばかりだった。

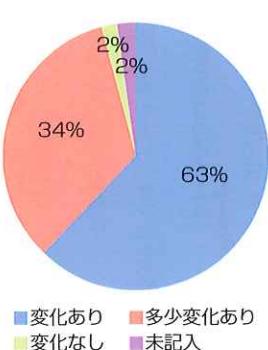
**「変化あり」理由**  
 職場での腰痛に対する意識が個人的なものであったので、長く働く目でみた取組が必要なだと痛感しました。腰痛を予防することが、いかに長く仕事を続けられるかにつながると思いました。

**「多少変化あり」理由**  
 職員が腰痛で休職する場合もあるので、対策を行うことで職員の人材不足を予防できると思いました。

**「変化なし」理由**  
 福祉用具を使うことが面倒だと感じていた。自分の職場にいる他の職員にも、ぜひ教えたいと思ったから。

**「多少変化あり」理由**  
 すぐ実践したい内容が多かった。

### 腰痛予防対策について 気持ちの変化



腰痛を改善するためにがんばろうと再度思った。

茨城県総合福祉会館1階の「いばらき福祉機器特設展示コーナー」では、おすすめの福祉用具を紹介しています。

## 今月のおすすめ福祉用具

### 総合福祉会館1階 いばらき福祉機器特設コーナー 展示品のご案内

★1月は『ポータブルトイレ』です。



会館にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。  
\*展示品はいずれも介護保険特定福祉用具購入対象品となり、介護認定を受けられている方はいつたん全額を負担し、あとで10万円を限度に利用者負担分（購入額の1／3割）を除いた金額が支給されます（年度毎、申請要）。詳しくは福祉用具貸与事業所へ直接お問い合わせください。

\*今月は、左記4種類のポータブルトイレの展示を行っています。

#### ② 家具調トイレコンパクト



##### 【特長】

- 全幅が48cmと、標準サイズ(50~54cm)よりコンパクト。
- ひじ掛け内寸のサイズは40cmと、標準サイズとほぼ同じサイズ。
- 重量：約13.5kg。（展示品、標準便座の場合）他にソフト便座（約14.2kg）、暖房便座（約15.2kg）があります。
- \*定価：32,000円（税抜）
- \*メーカー名：アロン化成（株）  
<http://www.aronkasei.co.jp/anju/products/excretion/>

#### ① 折りたたみ家具調トイレ標準便座



##### 【特長】

- 使用しない時は折りたたむことにより（折りたたみ幅35cm）、お部屋を広く使えます。
- 折りたたみ時、自立するので傾いて倒れにくいです。
- 重量：約15.3kg。標準便座（プラスチック）、ソフト便座（冷たさを感じにくい発泡EVA素材）の2種類。
- \*定価：63,000円（税別）
- \*メーカー名：アロン化成（株）  
<http://www.aronkasei.co.jp/anju/products/excretion/>

#### ④ ジャスピタ



##### 【特長】

- 排尿時お困りの多い「尿こぼれ」を防ぐため、排泄姿勢が傾きにくくなるよう、座面の形が工夫されています。（ドルフィンカット）
- 重量：約10.9kg（展示品、標準便座の場合）
- \*定価：31,000円（税抜）
- \*メーカー名：アロン化成（株）  
<http://www.aronkasei.co.jp/anju/products/excretion/>

#### ③ 家具調トイレ〈座楽〉



##### ひじ掛けはねあげ

##### 【特長】

- ひじ掛け部分がはね上がる所以、移乗介助・側方介助行ないやすいです。
- ペーパーホルダーは片手で切れるタイプ。
- 重量：約20.5kg。（展示品、標準便座の場合）
- \*定価：63,000円（税抜）
- \*メーカー名：パナソニックエイジフリー（株）  
<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products/>

\*2階福祉用具展示ホールは、上記以外にもポータブルトイレが数種類展示されています。

また、各種カタログも取り揃えています。ぜひ見学にお越しください。お待ちしております。

【福祉用具を安全に利用することにより、使用するご本人様の自立と介助者様の負担軽減になります。】

## 令和2年度 「福祉用具専門相談員指定講習会」

### 受講のご案内

・介護保険法においての指定福祉用具貸与、または販売する事業所に従事する福祉用具専門相談員の養成を目的に開催します。  
\*一定の有資格者（保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士、義肢装具士）については、本講習会を受講しなくても、福祉用具専門相談員として指定福祉用具貸与事業所、指定介護予防福祉用具貸与事業所、指定特定福祉用具販売事業所及び指定特定介護予防福祉用具販売事業所で勤務することが可能です。

#### 講習会日程

第1回 5月14日(木)～17日(日)  
6月5日(金)～7日(日)

第2回 11月12日(木)～13日(金)  
11月11日(金)～13日(日)  
(いずれも7日間)

●会場  
茨城県総合福祉会館 5階研修室  
(水戸市千波町1-9-18)

●受講料  
全日程参加できる方(35名募集)

●受講資格  
47,000円(テキスト・サブテキスト代込)  
募集期間

●会場  
茨城県総合福祉会館 5階研修室  
(水戸市千波町1-9-18)

第1回 令和2年3月16日(月)～4月16日(木)まで  
<第2回> 令和2年9月16日(月)～10月15日(木)まで

◆お申込み希望の方は、FAX・郵送等で受け付けています。 詳細はホームページをご覧いただけます。 お問い合わせください。

一般社団法人 茨城県福祉サービス振興会  
〒310-0851

茨城県水戸市千波町1-9-18  
茨城県総合福祉会館5階

お問い合わせ先

TEL 029-1-444-4400  
ホームページ <http://ibaraki-shinkoukai.jp>

### お知らせ

## 要介護認定調査業務を 受託します。

弊会（一社）茨城県福祉サービス振興会は、茨城県から要介護認定調査に係る「指定市町村事務受託法人」の指定を、平成29年1月13日付け長福指令第2332号をもって、受けております。  
要介護認定調査業務を下記により受託しますので、ぜひ、ご活用下さい。

#### 記

#### 1 調査地域の範囲

##### 茨城県内全域

（当面は水戸市及びその周辺市町）

\*水戸市及びその周辺市町以外の市町村に住民登録されているが、水戸市及びその周辺市町にお住まい、お暮しの方の認定調査も受託します。

#### 2 調査の対象者（在宅、施設）

新たに要介護の認定を受ける方及び更新される方

#### 3 調査費用

調査一件当たり6,000円（税別）

#### 4 その他

詳細については別途お問い合わせ下さい。

詳細は、ホームページ<http://ibaraki-shinkoukai.jp>をご覧下さい。

#### 連絡先

（社）茨城県福祉サービス振興会  
電話 029-1-241-6939  
FAX 029-1-241-6799  
〒310-0851  
茨城県水戸市千波町1-9-18  
茨城県総合福祉会館5階

## 会・員・事・業・所・訪・問 社会福祉法人 愛孝会 福祉の森 聖孝園



〒319-1305  
日立市十王町高原333-6  
電話：0294-39-1166  
F A X：0294-39-1167  
代表者：理事長 佐藤 孝守  
開設：昭和52年3月

#### 【特徴】

広大な自然の中にある「福祉の森 聖孝園」は、体の不自由な高齢者も元気な方も、共に生活できる複合老人福祉施設です。山あり、広場あり、川あり、滝ありと豊かな環境に恵まれており、四季の移り変わり肌で感じながら健康な心と体を養つていただけます。また、森林の中の遊歩道利用、山菜採り、栗拾い、山芋掘りなど自然との一体感も味わえます。

季節の行事や関連施設の保育園児との交流も積極的に行っております。



特別養護老人ホーム  
ショートステイ  
デイサービスセンター  
グループホーム  
生活支援ハウス  
居宅介護支援センター  
地域包括支援センター

#### 【事業内容】



#### 姉妹園

高萩聖孝園  
聖孝園高萩東口デイサービスセンター  
聖孝園池の川デイサービスセンター  
聖孝園千石デイサービスセンター

石名坂聖孝園  
聖愛園元吉田デイサービスセンター  
聖愛園千石デイサービスセンター  
瑞龍温泉デイサービスセンター

①尊厳と敬意をこめたお世話をモットーとしています。  
②利用者が必要とする適切なサービスを提供します。  
③安全で質の良い介護を提供します。  
④ひらかれた施設づくりをがけています。  
⑤利用者が幸福に過ごせるようお手伝いします。

高萩聖孝園  
聖孝園高萩東口デイサービスセンター  
聖孝園池の川デイサービスセンター  
聖孝園千石デイサービスセンター  
石名坂聖孝園  
聖愛園元吉田デイサービスセンター  
聖愛園千石デイサービスセンター  
瑞龍温泉デイサービスセンター